

相模原駅周辺地区まちづくり計画(素案)パブリックコメント結果概要

応募者数……………21人	
意見件数……………64件	
内訳	
1. 目的と本計画の構成	0 件
2. 地区の位置づけとまちづくりの目標	5 件
3. 一部返還予定地等の整備の目標と方針	23 件
4. 土地利用ゾーニングと基盤整備方針	11 件
5. 土地利用と歩行者ネットワーク	3 件
6. 実現化方策の検討	1 件
7. その他	21 件

## 相模原駅周辺地区まちづくり計画(素案)に対する意見と市の考え方

全体の 通し 番号	項目 毎の 通し 番号	ご意見の内容(要旨)	市の考え方	応募者 番号	意見 番号
<b>2. 地区の位置付けとまちづくりの目標 (5件)</b>					
1	1	南北市街地一体化整備のまちづくり計画案が必要ではないか？	駅南口につきましては、既存の集積を活用したにぎわいづくりが必要であると考えておりますので、駅南口の活性化とあわせ、まちの機能の更新を図るための再開発事業等の可能性について、今後、検討を行ってまいりたいと考えております。	3	6
2	2	南北それぞれの街の役割を明確にして欲しい。		5	16
3	3	背丈に合った事業計画で良好と思います。今後の南側再開発を含めた事業に期待が持てます。		11	34
4	4	空調や給湯に用いられる蓄熱施設は、省エネルギーシステムとしてだけでなく前項目で記したとおり、災害時に蓄熱槽の水を緊急生活用水に活用出来、また非常災害時の消防用水としても活用出来る、非常に有効なシステムと考えます。	「暮らしやすいまちづくり」の方針のもと、災害に強いまちづくりを目指してまいります。	15	48
5	5	「災害に強いまちづくり」に「強固な都市基盤の整備」、「エネルギー供給源の多重化」を追記したほうが良い。	ご意見を参考に、修正を行います。	20	55
<b>3. 一部返還予定地等の整備の目標と方針 (23件)</b>					
6	1	市役所等が駅から離れているため行政機能を持つてくるべき。	多様な交流のまちづくり及び市民サービスの向上の観点からのご意見として、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	2	3
7	2	市民の利便性の観点から市役所が返還予定地に移転するべき。		4	14
8	3	行政中枢機能を全面的に移転整備し、機能集約による業務の効率化を図り、コンパクトで機能的な都市にして欲しい。		8	26
9	4	官公庁移転について、具体的に計画の主要骨子とすべき。		14	43
10	5	橋本・町田に商業施設があるため、商業施設は最小限にしたほうが良い。		2	4
11	6	国際コンベンション施設は不要ではないか？	様々な人々が多様な交流を進めることにより、にぎわいのあるまちが生まれるという観点及び小田急多摩線の延伸に伴う都心、空港方面とのアクセスの改善の観点から、適正規模の多用途で機能的なコンベンション施設の検討を行ってまいりたいと考えております。	3	7
12	7	国際コンベンション施設は不要ではないか？		19	53

13	8	人や環境にも優しいまちづくりのために、人と車の分離、すなわち一定車両の乗り入れ規制が必要。	環境と共生するまちづくりの観点から、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	3	8
14	9	小山地域の公民館を返還予定地に移転して欲しい。	一部返還予定地内西側のコミュニティ・ゾーンは、生活系複合用地として位置付けており、医療や福祉施設等の様々な生活支援系施設の導入を検討しております。地域の方々にも利用いただける施設の導入につきましてもあわせて検討を行ってまいりたいと考えております。	4	15
15	10	市の表玄関として、城門、長屋門、凱旋門等をイメージさせるものが欲しい。“どこへも近い 相模原”	本市の表玄関にふさわしい風格のある都市景観形成の観点から、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	7	18
16	11	グローバル化する現状を踏まえ、国際的な視野にたった“まちづくり”を行なうことで、先端技術の交流拠点として、研究開発機関等の誘致を図り、先端技術のある都市にして欲しい。	新たな産業や技術・文化を創出し、情報を発信するまちづくりの観点からのご意見として、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	8	21
17	12	観光産業の交流拠点として、世界の国々から観光客のための施設整備と、津久井4町の豊富な観光資源のネットワーク化を図り、魅力的な観光産業のある都市にして欲しい。	多様な交流のまちづくり及び市民サービスの向上の観点からのご意見として、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。また、観光資源のネットワーク化については、ご意見として承ります。	8	22
18	13	近隣都市が持っている同じような機能のハコモノを造らず、環境にやさしいシェアする社会を造って欲しい。	環境と共生するまちづくりの観点からのご意見として、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	9	28
19	14	高齢者に暮らしやすい実験都市を造って欲しい。	多様な交流のまちづくり及び市民サービスの向上の観点からのご意見として、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	9	29
20	15	次世代を担う人材のインキュベーター施設も必要ではないか？	新たな産業や技術・文化を創出し、情報を発信するまちづくりの観点からのご意見として、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	11	32
21	16	産学協同のプロジェクトを立ち上げ下記イベントにて積極的な情報発信を推進する。		12	35
22	17	コミュニティゾーンに、高齢者や障害者の自立を支援する拠点としての複合コミュニティセンターの設置を望む。	多様な交流のまちづくり及び市民サービスの向上の観点からのご意見として、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	14	44
23	18	地域冷暖房システム、再生可能エネルギー、蓄熱施設、コージェネレーション*等に加え「ヒートポンプ」を追加したほうが良い。	ご意見を参考に、修正を行います。	15	45
24	19	再生可能エネルギーの定義を追加したほうが良い。		15	46
25	20	地域冷暖房システム、再生可能エネルギー、蓄熱施設、コージェネレーション*等に加え「スマートエネルギーネットワーク」を追加したほうが良い。		20	56

26	21	コージェネレーションの注釈に「年間を総合して排熱及び電力の十分な利用が可能である場合」を追加したほうが良い。	コージェネレーションの導入検討に当たっては、「環境と共生するまちづくり」の方針のもと、規模や効率性を十分に勘案してまいります。	15	47
27	22	「緑に囲まれた中高層住宅」の標記を「再生可能エネルギーを利用し、緑に囲まれた環境にやさしい中高層住宅」へ変更したほうが良い。	中高層住宅の建設に当たっては、ご指摘のエネルギーの利用を積極的に検討してまいります。	15	49
28	23	「中高層住宅については自然エネルギーや創エネルギーを生かした建築計画とする。」を追記したほうが良い。		20	57
4. 土地利用ゾーニングと基盤整備方針(11件)					
29	1	小田急多摩線延伸の開通時期は一部返還予定地の返還時に間に合わないと思うが？	市では、町田市や鉄道事業者等とともに小田急多摩線延伸促進検討会において、延伸の実現に向けた検討を行っているところです。基地返還及び小田急多摩線延伸の時期は未定ですが、相模原駅周辺地区のまちづくりにとりまして、この延伸は大変重要な事業ととらえております。	1	1
30	2	南北それぞれに交通機能拠点が必要なのか？むしろ、利用者の多い南口を本格的なターミナルゾーンとすべき。	圏央道のインターチェンジ開設に伴う遠距離バスの導入や、町田・八王子方面からのアクセス向上の観点から、駅北口の交通広場の充実が必要と考えております。	3	9
31	3	J R横浜線の高架化により、南北一体化のまちづくりができる。	横浜線相模原駅付近の高架化は、鉄道で寸断された南北地域の一体化に効果があるものと承知しております。しかしながら、鉄道の高架化には莫大な事業費を要することから、市といたしましては、歩行者の回遊性を向上させ、南北地域の一体的なにぎわいの創出を効率的に図ることができる歩行者デッキ等の設置について、検討してまいりたいと存じます。	3	11
32	4	駅周辺の開発を行うにあたり、町田市に繋がる道路を造る必要あり。	まちづくり計画では、返還されます2ha部分に道路を整備いたします。また、国道16号へつながる道路を整備するため、補給廠南側の道路用地の返還をあわせて求めているところです。また、広域交流拠点としてのまちづくりの推進におきまして、周辺道路の整備がたいへん重要と考えております。	4	13
33	5	国道16号方面へ接続する連絡道路を設けるべき。		6	17
34	6	業務系複合用地をもっと広げ、国の機関（省庁等及び出先機関・研究所等）、企業の支社・支店、研究施設の誘致を図る。	今後、企業立地意向把握等を行って検討を進めてまいりたいと考えます。	13	37
35	7	交流系複合施設の商業施設は、ブランド力のある店舗を誘致するため、区画を広げるほうが良い。		13	38
36	8	現在でも不足がちな駐車場を地下通路沿いに多くとる。	需要予測や費用対効果、環境面への影響等の調査・分析等により、検討を行ってまいりたいと考えます。	13	40
37	9	共同使用区域について、以前は、北側から多目的オープンスペースゾーン、憩いとうるおいのゾーンと聞いていたが、現在は、北側から憩いのゾーン、スポーツ・レクリエーションゾーンになっているのはなぜか？	共同使用区域の早期市民利用の実現に向け、米軍等に対し、市民の意向をより具体的に示すため、一部表現を改めております。なお、スポーツレクリエーションゾーンについては、ふれあいや休養・散策の場など自然との共生が楽しめる公園・緑地的機能を備えたものとして利用できるよう検討しているところでございます。	14	42

38	10	地下道路は、デッキと併せて南北ネットワークの有効な手段であるので、整備にあたり、充実したものとして欲しい。	地下通路については、デッキと同様に南北の一体化を図る上で大変有効な施設と考えますので、規模や安全性に配慮し、にぎわいのある充実したものとして検討してまいります。	17	51
39	11	全体を目的別・機能別エリアに分離されている点が良いと思います。	本計画の土地利用ゾーニングを基本に、よりよいまちづくりの検討を進めてまいります。	21	62
<b>5. 土地利用と歩行者ネットワーク(3件)</b>					
40	1	“リニア中央新幹線”地下コンコースの整備と併せJR線と小田急線を地下に敷設、相模原駅周辺市街地を東西南北に分断させることなく、人、物が“地上レベル”で自由にアクセス可能にして欲しい。	リニア中央新幹線につきましては、具体的なルートや駅位置等が決定しておりませんが、神奈川県内に設置が想定される駅は地下駅とも報じられております。鉄道の地下化は、鉄道で寸断された南北地域の一体化に効果があるものと承知しておりますが、莫大な事業費を要することから、市といたしましては、歩行者の回遊性を向上させ、南北地域の一体的なにぎわいの創出を効率的に図ることができる歩行者デッキ等の設置について、検討してまいりたいと存じます。	8	23
41	2	デッキレベル、地下レベルともに、各種イベントができるポケットパークのようなスペースを作り、低価格の使用料により、文化ホールのイメージへつなげる。	デッキ及び地下通路については、南北の一体化やにぎわいの創出を図る上で大変有効な施設と考えますので、イベント等のソフト面の充実を図るタウンマネジメントの検討を行ってまいります。	13	39
42	3	商業施設は南口商店街と競合し、南口がさびれてしまうので、固定化した建物を造らずに、テント村としてのシアターのようなものを造り、賑わいをつくり出すべき。	多様な交流及び南北一体のまちづくりの観点からのご意見として、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	18	52
<b>6. 実現化方策の検討(1件)</b>					
43	1	段階的にまちづくりを進めることは良いと思います。	社会情勢や本市の将来を見据えた上で、段階的なまちづくりも視野に入れて進めてまいりたいと考えております。	21	63
<b>7. その他(21件)</b>					
44	1	リニア中央新幹線を橋本へ誘致すべき。	リニア中央新幹線につきましては、具体的なルートや駅位置等が決定しておりません。市といたしましては、地元の窓口である神奈川県と連携し、まずは市内への駅設置の実現に向け、積極的な取組みを行っているところでございます。	2	2
45	2	リニア中央新幹線乗入れについて明記し、市内外にアピールしたほうが良い。		3	10
46	3	リニア中央新幹線の相模原駅への乗入れが、計画に反映されていない。		10	31
47	4	用地取得に費用がかかるため、入学者の減少する市内の公立小・中学校は新入生を受け入れないで欲しい。	ご意見として承ります。	1	5
48	5	一部返還予定地の少しでも早い返還を希望する。	市では、早期返還に向けた取組を積極的に行っており、今後も引き続き取り組んでまいりたいと考えております。	4	12
49	6	市民目線の“まちづくり”のために市民参加のワークショップ開催等を行い、相模原の次代を担う子供たちの豊かな感性と想像力、瑞々しい発想を取り入れて欲しい。	今後、次代を担う子供たちの豊かな感性と想像力、瑞々しい発想を取り入れるようなイベント企画を検討してまいりたいと考えております。	8	19
50	7	「リニア中央新幹線」の乗入れを前提の“まちづくり”を行い、アジアの交流拠点として、アジア諸国の大使館等の誘致を図り、アジアの人、物、経済、情報、技術、文化を集積させて欲しい。	多様な交流のまちづくり及び新たな産業や技術・文化を創出し、情報を発信するまちづくりの観点からのご意見として、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	8	20

51	8	米軍補給廠跡地をはじめとする市内米軍基地の全面返還とともに、基地周辺市街地の整備も含めた総合的な“まちづくり”を求めます。	市では、早期返還に向けた取組を積極的に行っており、今後も引き続き取り組んでまいりたいと考えております。また、返還が決定された際には、総合的なまちづくりにつきまして検討してまいります。	8	24
52	9	新都市交通システムの整備として、中核市街地とJR線の各駅及び北里麻溝地域・津久井地域を連環する新都市交通システムを整備、車依存型の都市から脱却した都市にして欲しい。	市では、現在、新たな交通システムの検討を行っており、今後の参考とさせていただきます。	8	25
53	10	※ Earth Port City (アース・ポート・シティー) 海路や空路で世界と結ばれた港や空港に対して、高速大量輸送手段「リニア中央新幹線」や「新都市交通システム」で結ばれる陸路の交流拠点“陸港都市”をイメージした造語。	まちのキャッチフレーズを検討する上で、今後の参考とさせていただきます。	8	27
54	11	教育者たちがゆったり、余裕を持って仕事ができる環境づくりをして欲しい。	ご意見として承ります。	9	30
55	12	リニア新幹線の交差点が考えられているのだから、観光、業務先拠点としての機能をさらに考える必要があるのでは？	リニア中央新幹線の市内への駅設置は、「観光」「業務」をはじめとした多様な都市機能の集積により、市の将来の発展に大きなインパクトをもたらすものと認識しております。 このため、地元の窓口である神奈川県と連携し、市内への駅設置の実現に向け、積極的な取組を行っているところでございます。	11	33
56	13	全体的には、良いプランだと思います。	今後、実現化に向けた検討を進めてまいります。	13	36
57	14	全体的としてまとまっていて、細かな点にも配慮されていて、よくできています。		21	58
58	15	あまりにも壮大で、大プロジェクトなので、いつまでに実現化できるかだと思います。	社会情勢や本市の将来を見据えた上で、段階的なまちづくりも視野に入れて進めてまいりたいと考えております。	21	59
59	16	半永久的な施設になるので、インフラ整備については将来的な方向性を充分考慮してください。		21	61
60	17	平成19年3月19日に「住みよい小山をつくる会」が市に提出した「相模総合補給廠一部返還に伴う跡地利用に関する意見書」の取扱がどうされたのか伺いたい。	意見書及び平成20年5月に提出された「小山地域まちづくり会議」の提言書なども踏まえた中で、現在、市は「新しい総合計画・新都市計画マスタープラン」の策定を進めているところでございます。	14	41
61	18	相模原駅周辺地区まちづくり計画に関する情報について、市民へのより一層の情報提供をお願いします。	今後もまちづくりシンポジウムや広報等を通じ、市民の皆様へ情報提供を図るとともに、寄せられたご意見は今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	16	50
62	19	今後、実現化の過程で、節目節目で、市民・地域やまちづくり推進連絡協議会の声を吸収・反映することに配慮してください。		21	64
63	20	相模原を外にPRし、企業誘致により就労人口増加などに力を入れ、駅前という立地を生かし、外から人が来るようなまちづくりをして欲しい。	市では、今後につきましても様々な機会をとらえ積極的にシティーセールスを行い、国内外の企業や人々に選ばれる都市を目指してまいります。	19	54
64	21	返還予定地・共同使用区域全体を都市型の公園として、その中に必要な施設を配置していくことに配慮してください。	環境と共生するまちづくりの観点から、今後のまちづくりの参考とさせていただきます。	21	60

## 相模原駅周辺地区まちづくり計画(素案)についての修正点

パブリックコメントで出された意見	対応
<p>概要版3P (2)整備の方針3)環境と共生するまちづくり ウ エネルギー供給の効率化 ・地域冷暖房システムの文章中に「ヒートポンプ」を追記 【理由】 1 2009年12月30日に閣議決定されている政府の経済成長戦略の基本方針である「新成長戦略(基本方針)～輝きのある日本へ～」における強みを活かす成長分野の一つである「グリーン・イノベーション」による環境・エネルギー大国戦略」の主な施策の一つに「再生可能エネルギーの利用拡大やヒートポンプ等の普及拡大の実現により、住宅・オフィス等のゼロエミッション化を推進する。」と謳っています。よって、「ヒートポンプ」の記載が必要であると考えます。</p>	
<p>概要版3P (2)整備の方針3)環境と共生するまちづくり ウ エネルギー供給の効率化 ・～再生可能エネルギーについての「定義」を追記 2 ・太陽光 ・風力 ・水力 ・地熱 ・太陽熱 ・大気中の熱その他の自然界に存する熱 ・バイオマス</p>	
<p>閲覧用7P-3 ウ 環境と共生するまちづくり (ウ)エネルギー供給の効率化 ・地域冷暖房システム、再生可能エネルギー、蓄熱施設、コージェネレーション*等に加え「スマートエネルギーネットワーク」を追記 【理由】 エネルギーを面的に利用し省エネと二酸化炭素排出量の削減を実現する「地域冷暖房システム」の計画的な導入は、エネルギー供給の効率化を図るうえで非常に有効な手段である。近年竣工した新しいシステム間で比較すると、個別熱源に対し地域冷暖房システムの省エネ率は14.2%。また、未利用エネルギーを活用した地域冷暖房の場合では20.6%と高い省エネ効果が表れている*。 *平成20年3月 経済産業省資源エネルギー庁 3 平成19年度未利用エネルギー面的活用熱供給適地促進調査報告書 「未利用エネルギー面的活用熱供給の実態と次世代に向けた方向性」より  また、分散型電源や太陽光、太陽熱、風力など「再生可能エネルギー」をネットワーク化しエネルギー供給のさらなる高効率化を図る「スマートエネルギーネットワーク」の導入により、電源や熱エネルギーの有効利用と安定供給を確保するのみならず、相模原市はもちろん、神奈川県第三の政令指定都市として近隣都市の支援も担うインフラ基盤の構築が可能となる。 この点からも「コージェネレーション」は、単にこれからの都市に求められる地球環境保全に寄与する省エネルギーシステムであるだけでなく、電源の多重化を図り政令指定都市の核として緊急時の司令基地(支援基地)を支える重要な防災機能を果たすと言える。</p>	<p>概要版には「地域冷暖房システム、ヒートポンプ、蓄熱施設、コージェネレーション*等」と、本編には「再生可能エネルギー、未利用エネルギー、スマートエネルギーネットワーク」の言葉及び定義も添えて掲載いたします。</p>
<p>閲覧用6P-5 (2)まちづくりの方針 イ 暮らしやすいまちづくり (エ)災害に強いまちづくり ・防災拠点の確保に「強固な都市基盤の整備」、「エネルギー供給源の多重化」を追記 4 【理由】 防災拠点の構築には建物の耐震化に加え、安定的なエネルギー供給の確保が重要である。大規模災害時も事業継続が可能となるよう強固なインフラ網を整備するとともに、コージェネレーションをはじめとする分散型電源を導入し対策を講じるなど、単一の電源、熱源に依存せずエネルギーを多重化しセキュリティの向上を図ることが必要であると考えます。</p>	<p>本編・概要版ともに、まちの安全性向上(強固な都市基盤の整備、建物の不燃化、耐震化の促進)、防災拠点の確保(駅北側のオープンスペースを避難場所として活用、防災貯留槽の確保、エネルギー供給源の多重化等)と掲載いたします。</p>